

平成30年度  
学校評価報告書

鳥根県立平田高等学校

校訓 自律・協同・創造

学校運営方針	◎地域から信頼される、魅力と活力のある学校づくりの推進
	1 一人一人の生徒を大切にす支援体制の充実
	2 生徒の主体性を育む教育活動の推進
	3 生徒の学びの質を高めるための授業改善の推進
	4 積極的な広報活動



4段階評価 4…強く思う・よく当てはまる 3…そう思う・ある程度当てはまる 2…あまりそう思わない・あまり当てはまらない 1…全くそう思わない・まったく当てはまらない

重点目標	学校評価実施項目	目標達成のための方策	分掌	自己評価			自己評価 概評と改善策	学校関係者評価	
				教職員	生徒	保護者			
1 自他の人権を尊重する精神の育成	互いの人権を尊重し、望ましい人間関係の育成を図るために学校行事等における集団活動の支援ができていますか。	学園祭、球技大会、日頃のHHR活動などを通して集団活動を通した望ましい人間関係の構築を図らせる。	生徒指導	3.1	3.1		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人間関係づくり」とかのHHRはおもしろい取り組みと思った。違う中学から来た生徒同士でもすぐに打ち解け合えるのでは。</li> <li>QUアンケートやアセスが行われているという報告があった。しっかりと活用して生徒理解に役立てていただきたい。</li> <li>平日新聞で不登校の特集をやっていた。高校へ上がって教室へ入れたという子もいる。どこか高校へ入学させて可能性を与えないといけないと思う。一般論だが引きこもりを作らない指導に尽力願いたい。</li> <li>いろいろな面で支援が必要な生徒がいることがよく分かった。前線の先生方は大変かもしれないがしっかりと対応して頂いていると感じた。</li> </ul>	
	人権・同和教育において重点目標の実現に努めていますか。	各クラス、学期に最低1回、人権や自他を尊重することの大切さを考えさせるLHRの時間を設ける。	図書研修	3.1	3.1				
	(1) 互いの人権を尊重し、望ましい人間関係づくりの育成 (2) 適切な情報活用能力と危機管理意識の向上 (3) 人権教育や特別支援教育の推進	支援を必要とする生徒(発達障害・不登校生徒)を早期に確認し、担任・保護者・関係者との連携を密にし他機関との連携を含めた早期対応が図られていますか。	必要に応じて迅速なケース会議を開き、個々の事情に適した対応を検討する。場合によっては外部専門機関との連携を図る。	保健	3.3				
	健康観察、欠席状況把握等を行い、生徒個々の心身両面の健康実態の適正な把握に努めていますか。	担任、学年主任、保健部が緊密な連携をとり、対応が必要な生徒の情報を共有し適切な方策を検討する。	担任、学年主任、保健部が緊密な連携をとり、対応が必要な生徒の情報を共有し適切な方策を検討する。	保健	3.4				
2 自己指導能力の育成	挨拶や服装・頭髪の指導を通して生徒の礼節ある態度が育てられていますか。	服装・頭髪指導週間を設け全教員で指導した。事後指導を行い指導を徹底する。指導基準を明文化する。	生徒指導	3.1	3.1	3.1	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の際のロープを使った高さの実体験は非常に面白い。全国的に広めると良い。</li> <li>マナーについて、とくに運動部の生徒がいつも大きな声でいさつをしてきている。自転車の並走や右側通行については我々の店の大通りではマナーは良く問題は無い。一方、狭い道の通行には若干問題があると思う。</li> <li>平田高校生にも人生ゲームに協力してもらってたいへん助かっている。生徒も楽しそうにやっているのがいい。先生方もそのときに町歩きする姿がたぶんあってうれしかった。</li> <li>商工会議所との連携は珍しい事例ではないだろうか。私も、昔商工会議所に関わった立場であり、互いに積極的にやっていただきたいと思う。</li> </ul>	
	(1) 自らの健康管理意識の向上と基本的生活習慣の確立 (2) 諸活動に対して主体的に取り組む姿勢の醸成 (3) 様々な場面に応じたふるまい向上と社会的マナーの向上	挨拶・時間の厳守・身だしなみ・校内美化の指導などを通して礼節ある立ち居振る舞いのできる生徒の育成に努めていますか。	チャイムと同時に授業を開始することを生徒にも習慣づけ、清掃活動時は全教員が各所の指導に当たる。	学年部	3.1	3.0			
	地域活動やボランティア活動への自発的参加の促進は活発に行われていますか。	地元や施設で開催される様々な行事に部活動単位や有志を募って参加させる。教育の日にちなんだ一斉奉仕活動も実施する。	生徒指導	3.2					
	集会指導や情報モラル講座・薬物乱用防止教室を開催することで、社会的なマナーを身につけさせることができていますか。	全校集会や学年集会の機会を利用して継続的な啓発を続ける。外部の専門家を招いた講演会もいろいろなテーマを取り上げて実施する。	生徒指導	3.0					
3 「生きる力」となる学力の育成	授業評価を通して、生徒の学習意欲や希望・問題点を把握し、授業の充実改善が行われていますか。	授業評価を毎定期試験ごとに実施し教員自身が効果的な授業の在り方を検証する	教務	3.0	2.8	3.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業期間を設定されるのは良いことである。それにもまして普段の清掃の時間等での様子に高校生らしい本場の姿を垣間見ることができている。本日、授業参観を行ってテニスホールが音消しに使われている状況や、ICT機器の利用風景を見ることができて参考になった。授業の様子を見たが生徒は大変落ち着いた状況で授業に取り組んでいるようです安心して。</li> <li>大学入試制度が間もなく変わると聞いている。ポートフォリオなどへの対策が進められつつある様子が伝えられた。とにかく大学が変わらないと高校教育も変わらない。今後よろしく対応をお願いしたい。</li> <li>新大学入試でとくに英語検定などの扱いを的確に把握して利用したり、教育課程を時節に合ったものにして万全の準備をしていただきたい。</li> </ul>	
	学ぶ目的や意義を理解させて、計画的・主体的に学習できる力を付けさせ、学年部目標の学習時間の確保に努めていますか。	「大夢」を日常的に活用させる。自身の学習記録と成績の推移を検証させ自己管理・学習到達度の確認を行わせる。	学年部	3.1	3.3				
	(1) 基礎学力の定着 (2) 家庭学習の習慣化 (3) 読書意欲の喚起と図書館の活用	「大夢」の導入で生徒の学習習慣や基本的生活習慣の確立が図られるなどの効果がありましたか。	教務	2.8	2.8				
	昨年度から取り入れたClassiの利用(アンケート・生活時間調査・生徒・保護者への情報伝達)は有効だと思いますか。	活用の度合いを高め、学校からの様々な情報が確実に届くよう工夫する。担任業務の軽減を図り生徒と触れ合う時間を創出する。	教務	3.5	2.8	3.2			
	生徒の読書意欲を高揚させる取り組みを行うことができていますか。	読書の意義と楽しさ、充実し幅広い世界観の構築の大切さを様々な機会を通して啓発する。	図書研修	3.2	2.8				
4 進路指導の充実	進路目標を確立・実現できるように、各学年でキャリア教育プログラムが適切に実施されていますか。	3年間を見通したキャリア教育プログラムを作り、自己の望ましい将来見通しを考える機会を持たせる。	進路指導	3.1		2.9	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい取り組みがいろいろとなされているようで頼もしい。10年以上前に映画監督の錦織良成氏を呼んだりしたことがあったが、生徒にいろいろと刺激を与えてほしい。</li> <li>最近の生徒の読書離れは深刻と聞く。色々な工夫をされている様子がうかがえた。粘り強く大切さを教えてやっていただきたい。家庭学習の時間よりもスマホをいじる時間が長い生徒が多いと聞く、難しい問題かもしれないがこれもしっかりと指導してやっていただきたい。</li> <li>昨年もお願いしたが研修旅行を行うにあたって事前の学習とあとの振り返りが大切であると思う。去年も今年もその点はしっかりと押さえてあるようで結構なことと思う。来年もそのようにして頂いて実のあるものにしていただきたい。</li> </ul>	
	(1) 研修旅行を活用したキャリア教育の充実 (2) 進路指導方法の研究と学力分析の活用 (3) 各学年での進路目標の確立と的確な進路情報の提供	各学年で、学力分析や進路検討会の改善充実を通して教員間の共通理解が図られていますか。	進路検討会の開催時期、時間を工夫して教員が多数参加できるよう配慮する。模試ごとに分析を各教科に実施してもらいより良い授業の実現につなげる。	進路指導	3.3				
	地域企業訪問・上級学校訪問・インターンシップ・職業人講演会・卒業生講話などは生徒に自分の将来を考えさせる上で効果的に行われていますか。	地域企業訪問・上級学校訪問・インターンシップ・職業人講演会・卒業生講話を1・2年次に実施する。	進路指導	3.3					
	面談、進路説明会、進路講演会などを通して生徒・保護者に的確な進路情報が提供されていますか。	生徒向け、保護者向け、教職員向けの講演会の機会を設けて、毎年変わる入試システムや上級学校の仕組みについての的確な情報を得る。	進路指導	3.2	3.1	3.0			
5 地域から信頼される魅力と活力のある学校づくりの推進	保護者や地域の学校理解を深めるために、PTA通信や学校通信等を行って積極的な広報活動が行われましたか。	総務部・進路指導部・保健部・図書研修部・学年部などが計画性をもって様々な観点からの広報活動を行う。	総務	3.3		2.9	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA総会にあわせて公開授業、進路指導部による説明会は参加者も多く、好評だった。研修として今年度はPTA委員と相談し関心の高い奨学金関係の講演会とした。予想を上回る参加を得ることができ、内容も今どきの高校生を持つ親のニーズに合うもので参加者には好評であった。来年度も保護者の関心の高いテーマを取り上げて研修会を開催したいと考える。</li> <li>HPIについては仮想デスクトップ標準パソコンの導入で各教員からアップロードするのに面倒な手順を踏まねばならず更新が滞ったこともあった。</li> </ul>	
	(1) 一人一人の生徒を大切にす支援体制の充実 (2) 生徒の主体性を育む教育活動の推進 (3) 生徒の学びの質を高めるための授業改善の推進 (4) 積極的な広報活動	支援を必要とする生徒を早期に把握し、担任・保護者・関係者との連携を密にし他機関との連携を含めた早期対応が図られていますか。	支援会議、ケース会議を必要に応じて開き生徒へのより良い対応を検討する。	保健	3.3				
	地域企業ガイダンス・インターンシップ・職業人講演会・名古屋研修などは生徒に自分の将来を考えさせる上で効果的に行われていますか。	それぞれの研修の機会を利用して、自己の将来のあるべき姿を考えさせる。地域についての知見を深めさせ今この問題点と解決策を考えさせる。	進路指導	3.3					
	公開授業週間の実施や各教科の授業研究は、教員相互の授業力の向上につながっていますか。	年2回、公開授業週間を設けて互いの授業を見学し授業力の向上を図る。また、各教科別の研究授業も積極的に開催する。	教務	2.9		3.0			
	ホームページの有効活用を進め本校の情報発信に寄与できていますか。	外部に対して様々な機会を利用して本校の特色をアピールしていく。入学後の勉強へのサポートのきめ細やかさや部活動の特徴的な点も伝える。	図書研修	2.9		2.8			